

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-509391(P2005-509391A)

【公表日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2005-014

【出願番号】特願2003-543121(P2003-543121)

【国際特許分類第7版】

H 0 2 M 3/07

G 0 6 F 1/26

H 0 1 M 10/44

H 0 2 J 7/34

H 0 2 M 3/00

【F I】

H 0 2 M 3/07

H 0 1 M 10/44 Q

H 0 2 J 7/34 A

H 0 2 M 3/00 G

G 0 6 F 1/00 3 3 0 A

G 0 6 F 1/00 3 3 0 B

G 0 6 F 1/00 3 3 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月8日(2004.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電気エネルギーの供給のための携帯型の装置であって、

少なくとも1つの給電電池(2)を有する機器(1)の接続を可能にする接続手段(8)と、

出力給電電圧を送り出す給電回路(6、16)と、

再充電可能な電気エネルギー蓄積手段(10)

とを備え、前記回路は、前記回路が適切な電気エネルギー供給源に接続されている時に、前記エネルギー蓄積手段(10)を超急速に充電し、および、前記接続手段(8)は、前記エネルギー蓄積手段(10)から前記機器(1)が給電されることおよび/または前記機器の前記給電電池が充電されることを可能にする装置。

【請求項2】

前記回路(6、16)によって送り出される前記機器(1)のための前記出力給電電圧は低電圧である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記回路は、電灯線電源または低電圧電気エネルギー供給源に対する接続のために設計されている、請求項1または2に記載の装置。

【請求項4】

前記電気エネルギー蓄積手段は再充電可能な電池(10)を備える、請求項1、2、または、3に記載の装置。

【請求項 5】

前記電気エネルギー蓄積手段は再充電可能な電池(10)を備え、

前記電池(10)は、前記電池(10)が前記接続手段(8)に接続されている前記機器(1)に給電する時に直列に接続されている幾つかの蓄電池セル(10a-10d)を備え、

前記電池の前記セル(10a-10d)の各々は、別々の充電制御回路(11a-11d)を経由して超急速に充電される、

請求項4に記載の装置。

【請求項 6】

前記回路は、前記回路が低電圧電気エネルギー供給源に接続されている時に、前記接続手段(8)に接続されている前記機器に給電し、かつ、前記蓄積手段(10)を充電する働きをする、特定の出力電圧を送り出す電圧コンバータ(16)を含む、請求項1から5のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 7】

前記エネルギー蓄積手段(10)は、前記エネルギー蓄積手段(10)の端子における電圧が予め決められた閾値よりも低い時に昇圧器として動作する前記コンバータ(16)を経由して、前記接続手段(8)に接続されている前記機器(1)に給電する、請求項6に記載の装置。

【請求項 8】

前記コンバータ(16)によって送り出される前記出力電圧を含む予め決められた電圧範囲内の電圧を有する低電圧電気エネルギー供給源に前記回路が接続されている時に、前記回路は、前記コンバータ(16)を通過することなしに前記電気エネルギー供給源から、前記接続手段(8)に接続されている前記機器(1)に給電し、および/または、前記エネルギー蓄積手段(10)を充電する、請求項6または7に記載の装置。

【請求項 9】

予め決められた閾値よりも低い電圧を有する電気エネルギー供給源に前記回路が接続されている時に、前記回路は、前記接続手段(8)に接続されている前記機器(1)に給電するが、前記エネルギー蓄積手段(10)を充電せず、

前記予め決められた閾値以上の電圧を有する電気エネルギー供給源に前記回路が接続されている時に、前記回路は、前記接続手段(8)に接続されている前記機器(1)に給電し、かつ、前記エネルギー蓄積手段(10)を充電する、請求項1から8のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 10】

前記予め決められた閾値は12ボルトである、請求項9に記載の装置。

【請求項 11】

前記回路が電気エネルギー供給源に接続されている時に、前記回路による前記エネルギー蓄積手段(10)の充電をユーザが選択的に許可または防止することを可能にする手段スイッチを含む、請求項1から8のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 12】

前記機器(1)に送り出される電流を制限する回路(9)を含む、請求項1から11のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 13】

前記機器(1)が給電される(1)ことを可能にしおよび/または前記エネルギー蓄積手段(10)の充電を可能にする太陽電池パネル(21)をさらに含む、請求項1から12のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 14】

取り外し可能な携帯型の電気エネルギー蓄積手段を接続するための接続手段を含み、前記取り外し可能な電気エネルギー蓄積手段が前記接続手段に接続されている場合に、前記給電回路は、前記給電回路が適切な電気エネルギー供給源に接続されている時に、前記取り外し可能な電気エネルギー蓄積手段を超急速に充電する、請求項1から13のいずれか

一項に記載の装置。

【請求項 15】

前記給電電池の超急速充電を可能にするようには設計されていない機器(1)の給電電池(2)を充電するために使用されることが意図されている、請求項1から14のいずれか一項に記載の装置。

【請求項 16】

電気機器に給電するための、請求項1から15のいずれか一項に記載の装置の使用。

【請求項 17】

前記機器は携帯型タイプである、請求項16に記載の使用。

【請求項 18】

前記機器は移動電話か携帯型コンピュータかポケット電子オーガナイザである、請求項17に記載の使用。

【請求項 19】

前記装置は前記電気機器の給電電池(2)を再充電する、請求項15から18のいずれか一項に記載の使用。